

- ・日 時：平成 25 年 7 月 31 日(水) 14:00～17:00
- ・場 所：JGS 会館 地下 A 会議室
- ・出席者：國生，太田，小峯，坂上，橘，並河，若月，清木 (西村代理)，重村，小椋，伊藤，青木 (事務局)
- ・欠席者：石原，菊池，齋藤，後藤，濱本，佐々木，森川，佐伯，松島，田中，石橋，若井

1. 前回議事録等の確認

- ・平成 25 年度第 1 回運営委員会議事録 (5/20) 【別紙—1】

2. 最近のスケジュール

- ・第 48 回地盤工学研究発表会 (本部)：平成 25 年 7 月 23 日 (火) ～25 日(木)
- ・平成 25 年度本部支部連絡協議会：平成 25 年 7 月 23 日 (火) @ 富山国際会議場
- ・関東支部発表会 (Geo Kanto 2013)：平成 25 年 10 月 4 日 (金)

3. 本部からの連絡・検討依頼事項

- (1) 地盤工学会館・関東支部の事務について 【別紙—2】

→会計ソフトなど準備が必要なので，来年度からの移行を検討する旨，小峯幹事長より木村総務部長へ連絡する。

- (2) 支部HP に関するご相談 【別紙—3】

→本部サーバーにアクセス数が多いと思われる委員会や部会などの現状の整理を行った上で，それでも，本部サーバーのセキュリティを向上させるために支部 HP を外部サーバーにおく必要があると本部が判断すれば，それに従い，関東支部で対応する。

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 出前授業の対応について 【別紙—4】

→安田先生，大林氏 (不動テトラ) にお願ひする。(10/5 午後開催)

- (2) 感謝状辞退について 【別紙—5】

→報告

- (3) 委員等の交代について 【別紙—6】

→承認

- (4) ニューズレターVol.31 について 【別紙—7】

→報告

寄贈していただいた「杭打機模型」は，想像以上にコンパクトで緻密であり，お礼状を出す。

- (5) 地質リスク学会からの協賛依頼について 【別紙—8】

→報告

- (6) 新潟地震 50 周年記念シンポジウム協賛依頼について 【別紙—9】

→北陸支部主催，各支部協賛のイメージで支部連携事業を推進する。

小峯幹事長より，大塚先生へ連絡し，関東支部として全面的にバックアップする。

- (7) メタンハイドレート総合シンポジウム協賛依頼について 【別紙—10】

→承認

- (8) 平成 25 年度予算執行状況について (6 月末現在) 【別紙—11】

→承認

## 5. 開催結果, 進捗状況の報告

(1) 10周年記念事業委員会について

→石井氏(大成)委員長とし, 当面は総務企画Gと連携して活動する. 時期をみて委員会編成予定.

(2) 表彰委員会について

【別紙—12】

→承認. 「受賞対象者の資格は特に設けない」募集要項とする.

(3) 一般国道400号下塩原第二トンネル建設工事の現場見学会(栃木県G)

【別紙—13】

→報告

(4) 永年にわたる正会員感謝状贈呈式

【別紙—14】

→報告

(5) 委員公募「地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会」

【別紙—15】

→報告

## 6. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービスG

【別紙—16】

→報告

(2) 茨城県G

(3) 栃木県G

【別紙—17】

→9月18日に勉強会を実施. 会告案は, 後日メール審議.

(4) 群馬県G

【別紙—18】

→報告

(5) 山梨県G

(6) 千葉県G

【別紙—19】

→報告

(7) 埼玉県G

【別紙—20】

→報告

(8) 神奈川県G

【別紙—21】

→報告

(9) 研究委員会G

【別紙—22】

→承認

・「液状化から戸建て住宅を守るための手引き」300冊増刷

「地下水の回復に伴う広域地盤隆起委員会報告書」150冊計画(見積もり入手後, 再審議)

「新関東の地盤」など, 今後の出版物に対して著作権侵害などの問題を覚悟する.

・著作権侵害防止対策として, 書籍出版企画者は著作依頼メンバー表を事務局に提出し, 正式な著作依頼を事務局から受領する.

(10) 支部発表会G

【別紙—23】

→報告

(11) 企画総務G

【別紙—24】

→報告

## 8. その他

(1) 退会届

株式会社久米設計

【別紙—25】

株式会社ジオ・コンサルタント

【別紙—26】

→報告

(2) 次回(第3回)運営委員会予定日 平成25年9月30(月) 15:00~17:00

・平成25年第1回評議員会予定日 平成25年10月17日(木)

→講演者は弁護士(「地盤リスク・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会」メンバー)へ依頼する.